

【教育実践論文(ソニー子ども科学教育プログラム) 審査講評】
2023年度 最優秀校
刈谷市立刈谷南中学校

教育課題として「共創する生徒の育成2023」を掲げ、理科の学習を中心としながら、子どもたちが「共創」の理念に基づいて様々な課題に問題意識を持って取り組んだ実践であると高く評価いたしました。

まず、理科の授業での実践については、子どもの意欲的な問題解決につながる事象との出会いなどの単元構成の創意工夫と、それに基づく意欲的な探究活動が展開されていることが述べられていました。生徒の意欲・関心を引き出し、探究を深めていく指導のプロセスが克明かつ明確に記録されており、大変興味深い内容でした。今後は、理科以外の教科とのより深い連携による教科横断的な教育実践についてもぜひ挑戦していただきたいと思います。

また、社会科や学校としての特色ある取り組みについても、生徒の自主性に基づく主体的な交流活動が述べられていました。生徒の科学力を総合的に高めるための教育実践に挑戦されており、学校全体で盛り上げようというエネルギーを感じました。

次年度の計画では、「科学が好きな子ども像(共創する生徒)」の定義を更新させ、多様な他者と関わり合いながら、よりよい考えを創り、「科学を学ぶ有用性を実感できる生徒」と定義されました。これにより、科学を身近な生活と結びつけることや、理科以外の教科との接続の可能性が広がりを感じとれました。

こうした実践を重ねて、貴校としての特色ある「共創する生徒育成プラン」の方策をさらに具体化し確固たるものとしていただくことを期待いたします。